

りっかかいだより そうふう

六花会だより

爽風

第36号

2012/ 1/31

医療法人六花会
館林記念病院
広報委員会

ホームページ <http://www.rikkakai.jp>



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、3月11日の東日本大震災が起こり沢山の方が犠牲になりました。平穏な生活の大切さ、家族の絆、健康の大切さをあらためて気付かされました。

福島原発事故の収束の遅れ、放射能被害の更なる拡散も予想され長い1年でした。

しかし、『はやぶさの帰還』、『なでしこジャパン』の快挙など希望の持てる、国民を勇気づけることもありました。当院においても、本年はリハビリテーション医療の充実を図ると共に、1人暮らしの方々の支援や在宅医療にも力を入れて取り組みたいと思います。

皆様方のご健勝を祈念いたします。



院長 堀越 裕一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は残念ながら悲しい出来事が多く起こりましたが、その中で私は絆という言葉が多く耳にしました。改めて周りの方々と心のつながりが掛け替えのないものだと感じる1年となりました。

館林記念病院は「心に残る医療を提供する」ことを理念に掲げ、医療、介護、リハビリテーションを軸として地域に貢献することを社会の使命と考えています。患者様、御家族、さらには職員までもが当院と関わり、健康や幸せを感じる事が出来るように一層の努力をする所存で御座います。

最後になりましたが、2012年が皆様にとって希望に満ち溢れた年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



総合診療課部長

新出 理



看護部長

世鳥山 恵美子

昨年は大震災があり、精神的に厳しい年でした。そんな中、確かに感じ取ったのは「人」の強さです。そしてそれは、支え合うことにより実現していました。「あきらめない心」「歩みつづける心」「励まし合う心」大切なことを、確認することができました。

私たちにできることは、現実的な支援だけでなく、大切なことを決して忘れないことであると思います。

館林記念病院という組織の中でも、職員同士が力を合わせながら、患者様や地域の方々に寄り添った医療を提供させていただきたいと思います。

今年も、よろしくお願いいたします。



事務次長

吉田 守

謹賀新年

旧年中も皆様には大変お世話になりました。3月11日の震災以来10ヶ月近く経過しましたが、被災地の東北3県ではまだまだ復興へ過程にあります。一方で、少しずつであれ復興へ向けた姿をみると、人間の逞しさを感じる事が出来ます。

ところで、本年は、診療報酬と介護報酬の同時改定の年にあたります。厳しい国家財政のなか、厳しい内容の改定が予想されます。厳しいからこそより頑張る年にしたいという気概をもって、この地域の中での役割を果たしてゆければと考えています。

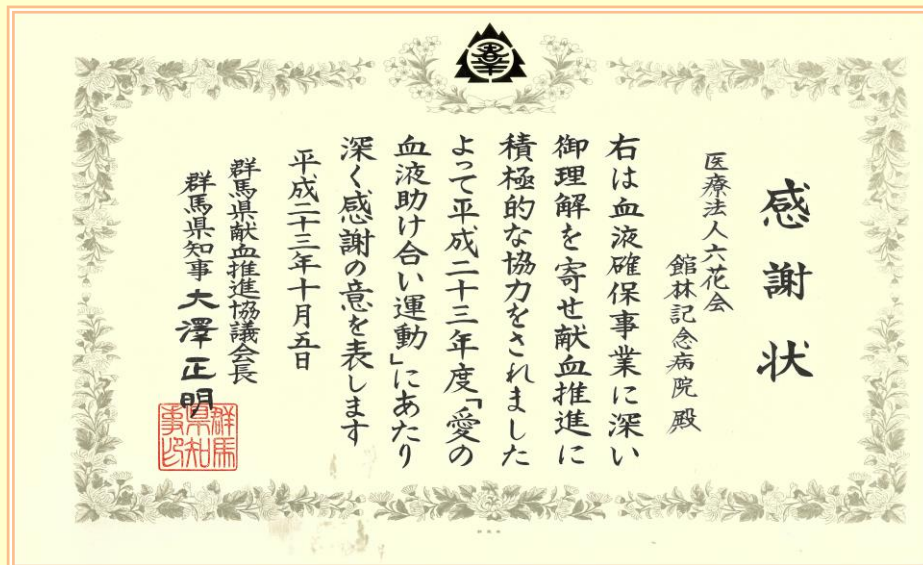
今年も皆様にとって幸多い年でありますように。

県献血推進協議会長感謝

状をいただきました。

これからも頑張って

献血していきましょう！！



病院理念 「心に残る医療を提供する」

基本方針

1. 地域社会に開かれた病院
2. 当院を利用される方に安全・安心を与えられる病院
3. 常に新しい医療を提供する病院
4. 当院を利用される方達が気楽に利用しやすい病院
5. 当院を利用される方が満足を得られる医療を提供する病院
6. 職員をはじめ当院に関わる人達も満足を得られる病院

